



今年度最終号では2年生の授業を紹介します。

3月11日、東日本大震災から5年を迎えました。2時46分、全校で震災で被害に遭われた方々に哀悼の意を表し、黙とうを捧げました。震災があった3月11日の前後は、連日多くのテレビや新聞で震災関連の記事や番組を取り上げていました。この道徳だよりをきっかけに、改めて家族で災害時の対応について確認し、東日本大震災のことについて話をしていただけたら幸いです。



【資料】「語り継がれる教訓」(彩の国の道徳『心の絆』より)

【概要】 2011年9月30日の読売新聞にも取り上げられた話。

明治・大正・昭和のそれぞれの時代ごとに大きな地震よる津波に遭っている陸前高田市。そのため、この地域では、火災や地震による避難訓練の他に津波による避難訓練を必ず行い、『地震が来たら、高台に逃げろ!』という言葉が代々語り継がれている。

東日本大震災の日、岩手県立高田高校2年だった熊野さんは、地面を大きく揺るがし、立っていることもままならない状況に大変なことになることを感じて高台に逃げるよう知らせるために商店街を走り回る。やがて、津波が迫り、高台に逃げるには間に合わないと思って入った建物で屋根裏部屋に移ろうとしたとき、濁流が飛び込んでくる。多くの人が濁流にのみ込まれていく中、濁流に吸い込まれそうな状況から辛うじて脱出した熊野さんは寒さの中で仲間と6人で一夜を過ごす。翌朝、自衛隊のヘリコプターに救助され、地に足を付け、生きていることを実感する。避難所に行くと、「あなたが『早く、高台に逃げて!』と知らせてお陰で、今の私がある」と同級生のお母さんから感謝される。父親が迎えに来て緊張から解放された熊野さん。しかし、時を経て高校に集合した際、地震の時に心配してメールをくれた親友が亡くなったことを知り、「あのときメールを返していたら助かっていたのでは…」とやりきれない思いになる。そして、代々語り継がれてきた教訓の重みを感じ、語り継いでいくことを心に誓うのである。

【わらい】

震災の経験を通して生命の尊さを感じ取りながら、今、生きているこの時間や自他の生命を大切に生きていこうとする心情を育てる。【生命の尊重】

《授業の感想・・・》

- 地震はいつ来るのかわからないので、「備え」が重要だと分かりました。この高校生の勇敢な行動がたくさんの人を救ったのだと思います。改めて、「避難訓練」の大切さを感じました。津波の恐ろしさを軽く見てはいけなかったと思いました。

- 災害があったときに、自分もみんなに危険を知らせられるような人間になりたいです。いつ死ぬかなんて分からないから、今をしっかりと生きたいです。
- 熊野さんはとても勇敢な人だなと思いました。もしも私なら、自分を第一に考えて高台に避難していたと思います。自分は、「海も山もなく安全な場所に住んでいる」という、どこか安心した気持ちがあるけれど、いつ、どこで、何が起きるか分からないし、こういった津波の恐怖と隣り合わせで生活している人もいるということ、しっかりと心に留めて生活したいです。
- あの日、僕はテレビで呆然としてしまうような映像を見ました。今、他の場所ではこのようなことになっているのかがく然となりました。翔太さんは自分を犠牲にしても1人でも多くの命を救うために走り回るのは、よっぽどの勇気がなければできないと思います。震災から5年が経つので、もう一度生きていることのありがたみ、命の大切さを確認したいです。
- 語り継がれる教訓は、必ず後世へと語り継がなければならないと思いました。この主人公は、津波が来る不安に震えながらも1人で地域の人たちに声を掛けていて、勇気ある行動をしていたと思った。でも、それは、人の命を救う上でなくてはならない行動だと思った。
- こういう人が1人でもいてくれたからたくさんの方が救われた。もっとこういう人が増えてくれたら良いと思った。人の命はいつ終わるか分からないから、友達や家族との時間を1分、1秒でも大切にしたいと思った。
- 東日本大震災は忘れてはいけない出来事であると改めて感じた。今日の授業を通して、生きていることが当たり前ではなく、今、この時を生かされることを感謝すべきだと思った。また、この震災の日、1人1人が自分以外の人にも気を配っていたら、助かった人は多いのではなかったかなと思った。
- たった一言で助かる命もある。ほんのちょっとの時間差で失われてしまう命もある。ギリギリのところで助かる命もある。人の命は1つ。だから、どんなときでも命を守ることが最優先だし、大切にしないとだと思った。今回の授業で、もっと生きること、一生懸命にならなきゃと思った。そのためにも、災害が起きた時の対処法を身につけていこうと思った。
- 私は3月11日、友達と遊んでいたんで、岩手県で起きたこの恐怖を知りませんでした。津波は一瞬で人の命を奪ってしまうので、私は、人の命を優先して、他人の命を助けることはできないなと思いました。今日の授業で、今、生きていられることは幸せなんだと思いました。そして、友達や家族をもっと大切にしようと思いました。

【保護者の皆様へ】

1年間、三尻中学校の道徳教育への御支援、御協力をありがとうございました。更に充実した道徳教育ができるよう、努めていきたいと思っております。

来年度も引き続き、御支援、御協力を宜しく申し上げます。

平成31年度からの「道徳の教科化」完全実施に向け、道徳教育の充実を図ってまいります。そこで、別紙でお配りしたアンケートに回答いただけたらと思っております。ご協力を宜しくお願いいたします。教科化については次年度のたよりで説明させていただきます。

アンケートの提出締め切り 3/23(水)

